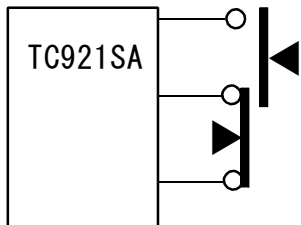


センサー等接続方法

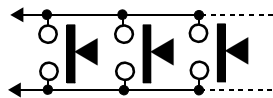


■a接点(無電圧)
常時はオープン状態で、異常時に接点が短絡(ショート)するものです。a接点、メーク接点などとも呼ばれています。常時は10K Ω 以上で、非常時に3.6K Ω 以下となるようにしてください。極性のあるセンサー等でうまく動作しない時は端子の接続を逆にしてください。接点容量は12V5mA以上ならOKです。< 0 Ω での短絡時に1mA程度流れます。>

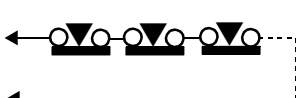
■b接点(無電圧)
常時はショート状態で、異常時に接点が開放(オープン)するものです。b接点、ブレーク接点などとも呼ばれています。常時は33K Ω 以下で非常時40K Ω 以上となるようにしてください。極性のあるセンサー等でうまく動作しない時は端子の接続を逆にしてください。接点容量は12V1mA以上ならOKです。< 0 Ω で常時0.1mA流れています。> b接点を使用するとき以外は赤いジャンパー線を外さないでください。

複数のセンサーを接続することもできます。

◆a接点 . . .
下図のようにセンサーを並列に接続します。



◆b接点 . . .
下図のようにセンサーを直列に接続します。



誤結線は故障の原因となります。ご不明の点がございましたら、お気軽にご相談ください。

携帯電話について

●使用できる携帯電話は、リモート通話機能(取扱説明書に「スイッチ付イヤホンマイクの使い方」が掲載されています)のある機種で平型かマイクロUSB型のイヤホンマイク端子が付いたもので、丸型4極用など一部の変換アダプターも利用できます。また、取扱説明書に記載がない機種でもテスト動作時に「アドレス登録がありません」と表示されれば使用できる可能性があります。

電話機の設定方法

- 携帯電話の取扱説明書の「スイッチ付イヤホンマイクの使い方」をご覧ください。一部の機種では「リモート通話」の設定をONにすることが必要です。
- 説明書にしたがってアドレス帳の指定番号(999などの最終アドレスが多い)に通報したい電話番号を登録してください。登録がない場合は直前の発信番号や着信番号に発信することがあります。
- 発信規制等の動作を妨げるような設定をすべて解除してください。また、ナンバーディスプレイ付きの固定電話や携帯電話で着信したときに異常通報と認知できませんので、発信番号は「全表示」にしてください。
- 携帯電話への接続コードのプラグは確実に元まで差し込んでください。
- 着信側の電話機に接続する携帯電話の番号を登録します。このとき、「ハウス異常」など判りやすい名前を登録してください。
- 本装置は異常発生時に1回のみ発信をおこないます。着信側の電話機が通話中でも緊急通報を受信するため、キャッチホンや割り込み通話を設定されることをお勧めします。
- 携帯電話の電波状態を確認し、最良の設置場所を探してください。受信感度が悪い場合はバッテリーの消耗も激しくなります。センサーとの接続ケーブルは多少長くなっても問題ありません。
- 携帯電話のバッテリー残量には充分ご注意ください。充電器のコネクターを直接外部接続端子に接続しての常時充電をお勧めします。また、機種により節電設定を行ってください。イヤホン端子と充電用端子が同一の場合は、別売の充電台(ホルダー)を使用してください。

お願い

携帯電話は電波を利用しているため、中継局の状態や容量、通話の輻輳、トラクターの側近通過などによって正常に通信ができなくなることがありますのでお含みおき願います。